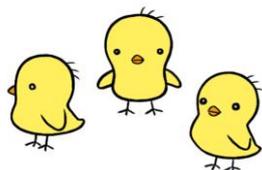


ひよこだより



都立大塚ろう学校 乳幼児教育相談

平成30年5月1日 NO. 2

新しい年度になって1か月が過ぎました。いよいよゴールデンウィークが始まります。お出かけをしますか？公園や散歩をするのにいい季節ですね。

遊びは見ることから

子供の遊ぶ力は、しっかりと見ることから始まります。まだ自分で身体を動かしたりできない頃、おもちゃに手を伸ばすことができない頃でも、目でおもちゃをじっと見ることから遊びは始まっています。見ようとする力、追視をする力を高めるためには、大人の働きかけが大切。

おもちゃを見せるとき、手に持たせるときは初めに子供の正面でおもちゃを見せましょう。子供がしっかり見たら振ったり、触らせたり、音を聞かせたり、振動や光を感じさせたりしましょう。そのときに注意するのは子供がおもちゃの動きを追視できているかどうかです。ゆっくり動かしたり早く動かしたり、停止するまでを短くしたり長くしたり工夫をして見せていきましょう。じっと見て目で追う遊びをたくさんするとだんだん遊び上手になっていきます。



体験させるって？

学校ではよく体験を大切にしましょうというお話をします。この「体験」というのは日常生活の中にあふれた体験のことを意味しています。日常生活ではなかなか体験できないようなことを経験することよりも、小さな子供の場合毎日の繰り返しの中での体験こそ、価値があるものとだと思っています。まだ生まれて1年～3年、そんな小さな子供たちの日常には輝くような新しいことがあふれています。

毎日の繰り返しの中での体験、さてどのようなことがあるでしょうか？例えばごみを出すこと、朝パパを送ること、朝のお着替え、食べ物を一緒に作ること、買い物に行くこと、郵便局や銀行に行くことなど……毎日の生活の中にはこんなにも体験があふれています。例えば銀行に行くとき、ただ座って「ここで待ってね」と説明してしまいがちです。そのような時も一緒に受付番号を取ってみるなど、丁寧に説明をすることが必要です。

ママがお手紙を書いているときに子供も一緒に書きたいというそんなことが多いと思います。そんなときは身近なおじいちゃんやおばあちゃんにお手紙を書く体験をするのも良いですね。郵便局に行ったら一緒に切手を買って「ペタペタ貼るよ」、そして一緒に赤いポストへ、おじいちゃんやおばあちゃんならお返事をいただくことも可能かもしれません。返事があるようでしたら、次の日から郵便屋さんを一緒に待ってみる、目の前で自宅のポストに入れられたお手紙を見たときには、子供はどんなにか喜ぶことだろうと思います。そんな体験も良いかもしれません。

季節の変わり目、長袖から半袖になるときに一緒に衣替えをしたそんな体験をした親子がいました。学校に半袖のシャツで来たときに「半袖だね」と話しかけると「暑い」と満面の笑みで教えてくれたことがあります。毎日使っているおもちゃを一緒に直す、そんな体験をした親子もいます。気が付かないうちに破れてしまっていた絵本をテープで直したり、壊れてしまったおもちゃをボンドでくっつけたり、汚れてしまったおもちゃを雑巾で拭いたり、お人形をお洗濯したり、大人がやってしまえば短時間で済むことを子供と一緒に体感する、その中で分かることがたくさんあります。毎日の体験を親子で丁寧に関わっていくことを是非やってみてください。



学校でのグループ活動でもたくさんの体験をします。この時も丁寧に話していくことを忘れないでください。ひよこ組は親子活動の場です。この場をたくさん活用するようにしていきましょう。

(文責 海保)